

伊予市 環境 基本計画

2023-2032



計画の目的

伊予市環境基本条例第9条に基づき、環境の保全等の理念の実現を図るため、基本的な施策を総合的かつ計画的に実施することを目的としています。

将来環境像

未来につなぐ 環境に優しい 持続可能なまち 伊予

環境目標1

住み続けたいくなる快適な生活環境が

守られるまち

行政、市民、事業者が、それぞれ環境基準等の遵守を第一に行動しつつ、さらに快適な生活環境となるよう努力することで、住み続けたいくなる快適な生活環境を守り続けていくとともに、人が多く集まり、事業所等が集積する、魅力のあるまちの構造の形成に取り組んでいきます。



施策の方向性① 安心・安全な環境づくりの推進

- 大気、水質、騒音・振動等の監視
- 河川・海の水質保全

施策の方向性② 持続可能な魅力ある環境資源の活用

- ワーケーション等の推進
- 持続可能な観光の推進

施策の方向性③ 魅力ある景観の保全

- 文化財の保全
- 豊かな景観形成と緑化の推進

環境目標2

自然環境が持続可能な利用で

守られるまち

豊かな森林や水辺環境、農地などの自然環境の保全や里地里山の管理とともに、生物多様性の持続可能な利用に対する取組に行政、市民、事業者が一体となって取り組んでいきます。



施策の方向性① 豊かな緑と安らぎの水辺環境の保全・創造

- 森林や河川、海など自然環境の保全
- 里地里山の積極的な管理
- 農林水産業との共存

施策の方向性② 生物多様性の保全と持続可能な利用

- 外来生物防除、野生動物との共生
- 多様な生態系の保全
- 生物多様性に関する普及啓発

環境目標 3

環境にやさしい暮らし方が

続けられるまち

温室効果ガス排出量の着実な削減とゼロカーボンシティの実現に向けて、さらに再生可能エネルギーの導入や、省エネルギー行動の普及を進めていきます。また、低炭素まちづくりとして、新しい交通体系の整備や技術の導入、レジリエントなまちづくりなどを戦略的に進め、プラスチック廃棄物量の削減や、食品ロスの削減を進めるなど資源循環に関する取組を推進していきます。



施策の方向性① 再生可能エネルギーの創出

- 再生可能エネルギーの導入推進
- 自立・分散型エネルギー社会の形成推進

施策の方向性② 省エネルギー対策の推進

- 建物・住宅におけるZEB・ZEH等の普及推進
- 産業部門における省エネルギー行動の推進

施策の方向性③ 低炭素まちづくりの推進

- 運輸部門のカーボンニュートラル化推進
- 効率的なまちづくりの推進

施策の方向性④ 循環型社会形成の推進

- 循環型社会の構築
- 廃棄物の適正処理の推進

施策の方向性⑤ 気候変動への適応策

- 気候変動への適応策の検討

環境目標 4

環境教育や環境行動が

日常にあるまち

本市が有する豊かな自然環境や再生可能エネルギーや、ICTなどの最新技術を活用し、行政、市民、事業者が一体となった環境教育の実施により、計画の目標達成に向けた着実な一歩とすることで、やがて、環境教育や環境行動が、普段の生活の中であたりまえに実施されるようになることを目指していきます。



施策の方向性① 環境学習メニューの充実

- 学校、地域等における環境学習の推進
- 環境情報の発信と共有

施策の方向性② 環境保全活動の活性化支援

- 人材育成の推進
- 活動支援制度の充実

リーディングプロジェクト

本計画の将来環境像と4つの環境目標の達成に向けて、市民・事業者・行政の協働の下、重点的に取り組む横断的なプロジェクトを設定します。

▷ゼロカーボンシティ推進プロジェクト	環境目標 2	環境目標 3	環境目標 4
<p>「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、取組の推進を実施することで、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利用促進のみならず、自家用車利用の削減につながるまちづくりや廃棄物対策、吸収源としての緑の保全など、地球温暖化対策に向けた取組を多面的に実践し、ゼロカーボンシティの実現につなげます。</p> <p>●重点取組</p> <ul style="list-style-type: none">・森林や河川、海など自然環境の保全・再生可能エネルギーの導入推進・自立・分散型エネルギー社会の形成推進・建物・住宅におけるZEB・ZEHの普及推進・産業部門における省エネルギー行動の推進・運輸部門のカーボンニュートラル化推進・効率的なまちづくりの推進・循環型社会の構築・学校、地域等における環境学習の推進			
▷水辺環境保全プロジェクト	環境目標 1	環境目標 2	環境目標 3 環境目標 4
<p>本市の美しい海や河川を次世代に引き継いでいくため、河川・海などの水辺環境の適正な維持管理を推進するとともに、地域の状況に適した効果的な汚水処理施設の整備を行い、適切に生活排水を処理し河川の美化や水質改善に取り組むことにより、きれいな水環境づくりを推進します。</p> <p>●重点取組</p> <ul style="list-style-type: none">・大気、水質、騒音・振動等の監視・河川・海の水質保全・森林や河川、海など自然環境の保全・循環型社会の構築・学校、地域等における環境学習の推進			
▷資源循環推進プロジェクト	環境目標 2	環境目標 3	環境目標 4
<p>近年、循環型社会の実現に向けた課題の一つとして、海洋プラスチックごみや食品ロスに関する問題が挙げられています。これらは、日常生活と関わりが深く、市民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践することで改善が可能な問題でもあることから、今後は、市民・事業者・行政が一体となり、サステナブルなライフスタイルの確立を目指します。</p> <p>●重点取組</p> <ul style="list-style-type: none">・農林水産業との共存・循環型社会の構築・廃棄物の適正処理の推進・学校、地域等における環境学習の推進			